



寒さに負けず、農福推進!!

《熱中症》のニュースが連日のように流れていた夏^夏の猛暑が嘘のように、過ごしやすい日々は駆け足で過ぎ去り、気が付けば今年も寒い季節がやってきました。

時折、白いモノが降りてくる空模様の中でも『農福』の現場は動いています。

夏の暑さを懐かしく？思い、春の暖かい日差しを待ちわびながら、《収穫の季節》に思いを馳せて、皆様方とともに『農福連携事業』の充実と拡大を目指して活動してまいります。

ご理解とご協力、そして“声”をお聞かせください。

【農福連携マルシェ開催】

10月27日（金）～29日（日）の3日間『うすい百貨店』前にて、『秋のしらかしマルシェ』と題して、農福連携マルシェを開催いたしました。

県内各地の福祉作業所さんで生産された野菜や、6次化製品を、作業所の皆さんが、お客様に直接販売する対面販売で実施。

参加した作業所の皆さんからは、「お客様に商品説明をしたり、商品に対する感想が聞けて楽しかった」などの声がありお客様も作業所スタッフから商品説明を聞きながら、興味深そうに商品を手にする姿が印象的でした。

今後、当会では様々な場所で農福連携マルシェや、販売会を開催し販売支援の強化に努めてまいります。

【農作業のマッチング】

収穫作業が終了したピーマン畑。『雪が降る前にかたづけ作業』をお願いされました。福祉作業所の利用者さんとスタッフの皆さんが、一生懸命作業する姿に、依頼して下さった農家さんが目を細めながら『依頼してよかった。思ったよりも早く作業が終わりそうだ。』と感謝の言葉をいただきました。

『いえいえこちらこそ、ご依頼いただきありがとうございます。』

農作業のマッチングを推進する中で一番、『ほっ』とする瞬間です。

当会を通じて、初めて農作業をご依頼いただく農家さんは様々な不安と思いがあようです。

作業はできるのか？時間がかかるのではないのか？ケガをしたら…お金は？

そんな農家さんの不安や思いを聞きながら、不安な思いを少しでも軽くしてより良いマッチングに繋げたい。そんな思いで日々活動しています。これからの季節は野外での農作業が少なくなってきます。また、利用者さんによっては野外での作業が難しい方もいらっしゃいます。そのような状況であっても、何らかの形で『農』に繋がる作業をマッチング出来たらと思っています。室内でできる内職的な作業（フルーツキャップやシール貼り等）も含め、今後も作業の掘り起こしに努めてまいります。

（担当：農福連携コーディネーター 渡部 栄昭）

《事務局から》

令和5年度第26回授産施設新製品（商品）開発コンクール作品募集中!!

令和3年1月以降に製作した製品が対象となります。販売会に出ていない製品や事業所のみで販売している製品はありませんか？そのような製品がありましたら、この機会に出品してはいかがでしょうか。

多くの事業所からの出品をお待ちしております。

募集期限：令和5年12月8日（金）まで

